

本物の野菜づくりをめざして

～ 有機JASの野菜を市場へ ～

富山県 福光町 杉本博幸

平成6年体調を崩したことによりEMに出会い、長野県松本市にある（財）自然農法国際研究開発センターの農業試験場で自然農法栽培を学び自然農法栽培を始める。消費者との心を結ぶ地産地消、身土不二を目標に育土に取り組んできた。平成13年有機JASの認定を受け安全安心の健康な野菜を人に提供していこうと日々取り組んでいる。



今年は各地より視察者も多く自然農法栽培に取り組んできた努力が報われつつある。



説明にもゆとりが出て質問に対しても自信をもって対応できるようになった。



約20種類の野菜の栽培を行っている。旬の良さを消費者に分かって頂くために現在は路地栽培を中心にしている。

育土には収穫物残渣とEMボカシとEM活性液を活用している。

地元のスーパーから有機JAS野菜の予約を受け作付けた野菜。